

ダイワ／バリュー・パートナーズ チャイナ・カーボン・ ニュートラル・フォーカス

運用報告書(全体版) 第2期

(決算日 2022年10月14日)

(作成対象期間 2022年4月15日～2022年10月14日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式		
信託期間	2021年10月15日～2026年10月14日		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資 対 象	当 ファ ン ド	イ. ケイマン籍の外国投資法人「バリュー・パートナーズ・ファンズ・エスपीシー」が発行する「バリュー・パートナーズ・チャイナ・カーボン・ニュートラルティ・ファンド・エスピー（クラスZ）」の投資証券（円建） ロ. ダイワ・マネーデポジット・マザーファンドの受益証券	
	ダイワ・マネーデポジット・マザーファンド	円建ての債券	
組入制限	当 ファ ン ド の 投資信託証券組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの 株式組入上限比率	純資産総額の10%以下	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、中国のカーボンニュートラル関連企業の株式に投資することにより、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9:00～17:00）
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

設定以来の運用実績

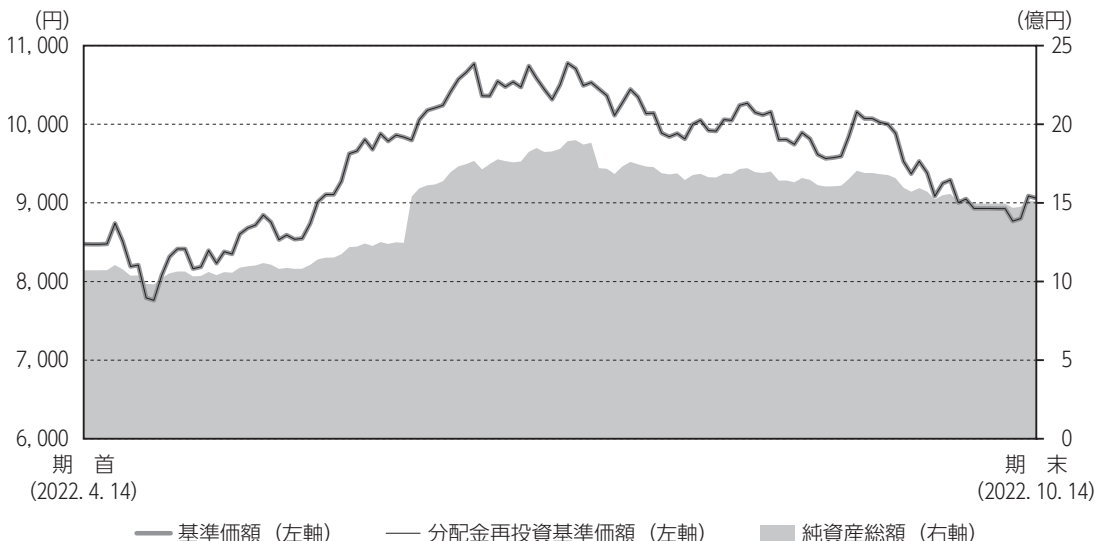
決 算 期	基 準 価 額			MSCI China A Index (配当込み、円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 証 券 組入比率	純資産 総 額
	(分配落)	税 込 分配金	期 中 騰落率	(参考指数)	期 中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
1 期末(2022年 4 月14日)	8, 475	0	△ 15. 3	9, 312	△ 6. 9	—	99. 0	1, 071
2 期末(2022年10月14日)	9, 059	0	6. 9	9, 164	△ 1. 6	—	99. 0	1, 509

- (注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
- (注 2) MSCI China A Index（配当込み、円換算）は、MSCI Inc.（「MSCI」）の承諾を得て、MSCI China A Index（配当込み、人民元ベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCI China A Index（配当込み、人民元ベース）は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>]
- (注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注 4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注 5) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
- (注 6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：8,475円

期末：9,059円（分配金 0 円）

騰落率：6.9%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

チャイナ・カーボン・ニュートラリティ・ファンドの投資証券を通じて、中国のカーボンニュートラル関連企業の株式（D R（預託証券）を含みます。以下同じ。）に投資を行い運用した結果、外国為替市場で円安が進行したことが主なプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※チャイナ・カーボン・ニュートラリティ・ファンド：バリュー・パートナーズ・チャイナ・カーボン・ニュートラリティ・ファンド・エスピー（クラスZ）

年 月 日	基 準 価 額		MSCI China A Index (配当込み、円換算)		公 社 債 組入比率	投資信託 証 券 組入比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2022年 4 月14日	円 8,475	% —	9,312	% —	% —	% 99.0
4 月末	8,082	△ 4.6	8,631	△ 7.3	—	99.0
5 月末	8,736	3.1	8,944	△ 4.0	—	99.1
6 月末	10,361	22.3	10,493	12.7	—	98.1
7 月末	10,345	22.1	9,981	7.2	—	98.9
8 月末	9,817	15.8	9,742	4.6	—	99.0
9 月末	9,050	6.8	9,194	△ 1.3	—	99.2
(期末) 2022年10月14日	9,059	6.9	9,164	△ 1.6	—	99.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2022. 4. 15 ～ 2022. 10. 14)

中国・香港株式市況

中国・香港株式市況は下落しました。

中国・香港株式市場は、当作成期首から2022年5月初旬にかけて、新型コロナウイルス感染拡大に伴う一部主要都市におけるロックダウン（都市封鎖）の長期化などを受けて中国景気の悪化懸念が強まる中、下落しました。その後6月下旬にかけて、中国本土市場は、行動規制の緩和による経済活動の再開やテック企業に対する規制緩和の動きを好感したことから、底堅く推移しました。香港市場は、景気後退懸念を背景とした米国株安や中国での感染拡大への懸念などから一進一退となる場面も見られたものの、米国による対中関税引き下げ観測などを背景に上昇しました。8月中旬にかけては、中国の2022年4－6月期の実質GDP（国内総生産）成長率が市場予想を下回ったことや、ペロシ米国下院議長の台湾訪問を発端とした米中関係悪化への懸念などから下落しました。9月下旬にかけては、主要中央銀行の積極的な利上げによる景気悪化懸念などを背景に大きく下落しました。当作成期末にかけては、国慶節の大型連休以降、中国国内で新型コロナウイルスの感染が再拡大していることを受けて行動規制強化による景気減速が懸念されたことから、下落基調で推移しました。

為替相場

対円為替相場は、香港ドル、中国・人民元ともに上昇（円安）しました。

F R B（米国連邦準備制度理事会）が大幅な利上げの実施を決定したことに対し、日銀は金融緩和姿勢を維持するなど、日米の金融政策のかい離や金利差を受けた円安米ドル高の急速な進行を背景に、中国・人民元、香港ドルともに対円で上昇しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンド

チャイナ・カーボン・ニュートラリティ・ファンドへの投資割合を高位に維持することによって、中国のカーボンニュートラル関連企業の株式に投資し、信託財産の成長をめざします。

■チャイナ・カーボン・ニュートラリティ・ファンド

1. 主として、中国のカーボンニュートラル関連企業の株式に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざします。
2. ポートフォリオの構築にあたっては、以下の方針を基本とします。
 - ・財務状況、収益性およびバリュエーションなどをもとに定量的なスクリーニングを行い、銘柄の絞り込みを行います。
 - ・選定された銘柄について、財務分析や企業訪問を含む全方位的なボトムアップ・アプローチを用いたファンダメンタル分析を行います。
 - ・各銘柄の本源的価値からの割安度合いや株価が是正されるきっかけとなる事象に基づく確信度合いなどを勘案し、ポートフォリオを構築します。
3. 為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行いません。

■ダイワ・マネーデポジット・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行います。

ポートフォリオについて

(2022. 4. 15 ~ 2022. 10. 14)

■当ファンド

当ファンドは、チャイナ・カーボン・ニュートラリティ・ファンドとダイワ・マネーデポジット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、当作成期を通じてチャイナ・カーボン・ニュートラリティ・ファンドへの投資割合を高位に維持しました。

■チャイナ・カーボン・ニュートラリティ・ファンド

主として、中国のカーボンニュートラル関連企業の株式への投資を通し、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。市場別では深センA株市場、上海A株市場、香港市場、業種別では資本財・サービス、情報技術、公益事業の銘柄を中心としたポートフォリオ構成としました。

■ダイワ・マネーデポジット・マザーファンド

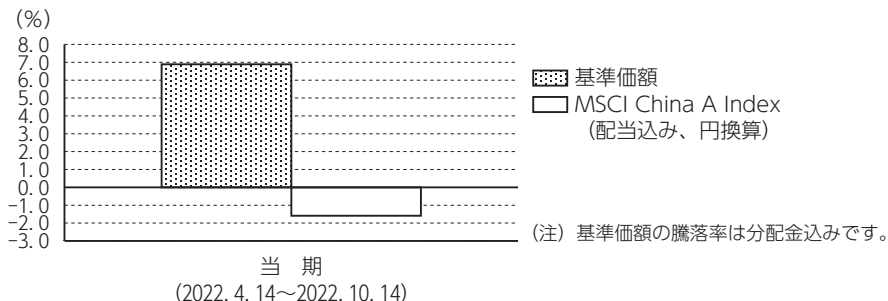
流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

※当ファンドにおける中国のカーボンニュートラル関連企業とは、中国に主たる拠点を有している、中国国内の株式市場に上場している、収益の大部分を中国であげているまたは主たるビジネスを中国で行っている企業のうち、カーボンニュートラル関連ビジネスに直接的もしくは間接的に取り組む企業または強固なカーボンニュートラルの方針を掲げて実践している企業をいいます。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、基準価額の水準等を勘案し、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2022年 4 月15日 ～2022年10月14日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	60

(注 1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注 2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注 3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

チャイナ・カーボン・ニュートラルリティ・ファンドへの投資割合を高位に維持することによって、中国のカーボンニュートラル関連企業の株式に投資し、信託財産の成長をめざします。

■チャイナ・カーボン・ニュートラルリティ・ファンド

1. 主として、中国のカーボンニュートラル関連企業の株式に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざします。
2. ポートフォリオの構築にあたっては、以下の方針を基本とします。
 - ・財務状況、収益性およびバリュエーションなどをもとに定量的なスクリーニングを行い、銘柄の絞り込みを行います。
 - ・選定された銘柄について、財務分析や企業訪問を含む全方位的なボトムアップ・アプローチを用いたファンダメンタル分析を行います。
 - ・各銘柄の本源的価値からの割安度合いや株価が是正されるきっかけとなる事象に基づく確信度合いなどを勘案し、ポートフォリオを構築します。
3. 為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行いません。

■ダイワ・マネーデポジット・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行います。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2022. 4. 15～2022. 10. 14)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	59円	0. 620%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9, 536円です。
(投 信 会 社)	(18)	(0. 193)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(39)	(0. 414)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0. 014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	60	0. 624	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

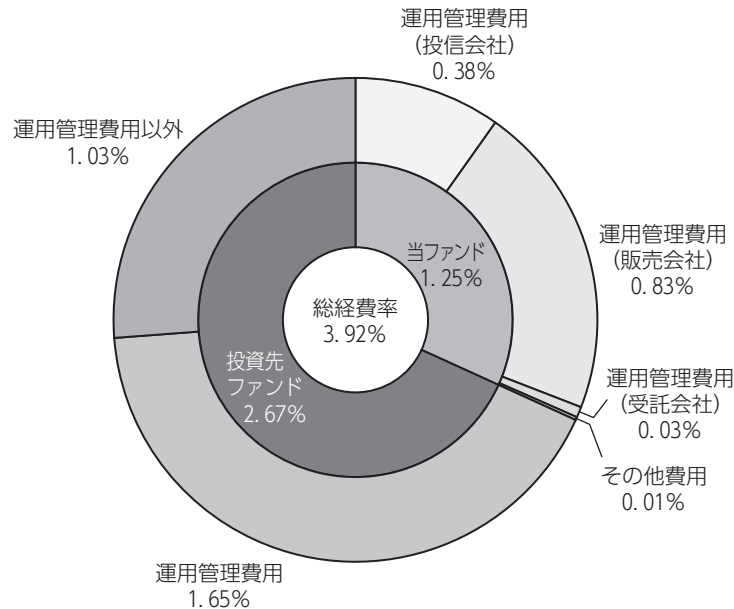
(注 3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は3.92%です。



総経費率（①＋②＋③）	3.92%
①当ファンドの費用の比率	1.25%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.65%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	1.03%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。
(注4) 各比率は、年率換算した値です。
(注5) ①の費用は、１万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。
(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託証券

(2022年 4月15日から2022年10月14日まで)

	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	54.433819 (—)	567,200 (—)	17.082065 (—)	178,700 (—)

(注 1) 金額は受渡し代金。
(注 2) 買付()内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。
(注 3) 売付()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注 4) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託証券

(2022年 4月15日から2022年10月14日まで)

当 期				期 末			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
VALUE PARTNERS CHINA CARBON NEUTRALITY FUND SP (CLASS Z) (JPY UNHEDGED) (ケイマン諸島)	54.433819	567,200	10,419	VALUE PARTNERS CHINA CARBON NEUTRALITY FUND SP (CLASS Z) (JPY UNHEDGED) (ケイマン諸島)	17.082065	178,700	10,461

(注 1) 金額は受渡し代金。
(注 2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーデポジット・マザーファンド	101	101	100

(注) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組み入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	当 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託証券 (ケイマン諸島) VALUE PARTNERS CHINA CARBON NEUTRALITY FUND SP (CLASS Z) (JPY UNHEDGED)	161.750048	1,493,761	99.0

(注 1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注 2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

項 目	2022年10月14日現在	
	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託証券	1,493,761	97.8
ダイワ・マネーデポジット・マザーファンド	100	0.0
コール・ローン等、その他	33,689	2.2
投資信託財産総額	1,527,551	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年10月14日現在	
項 目	当 期 末
(A)資産	1,539,651,810円
コール・ローン等	21,589,238
投資信託証券（評価額）	1,493,761,693
ダイワ・マネーデポジット・マザーファンド（評価額）	100,879
未収入金	24,200,000
(B)負債	30,133,561
未払金	12,100,000
未払解約金	8,860,529
未払信託報酬	9,112,370
その他未払費用	60,662
(C)純資産総額（A－B）	1,509,518,249
元本	1,666,370,817
次期繰越損益金	△ 156,852,568
(D)受益権総口数	1,666,370,817口
1万口当り基準価額（C／D）	9,059円

* 期首における元本額は1,264,647,017円、当作成期間中における追加設定元本額は699,060,210円、同解約元本額は297,336,410円です。
* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,059円です。
* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は156,852,568円です。

■損益の状況

当期 自 2022年 4月15日 至 2022年10月14日	
項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 15,091円
受取利息	1,686
支払利息	△ 16,777
(B) 有価証券売買損益	5,110,365
売買益	43,946,820
売買損	△ 38,836,455
(C) 信託報酬等	△ 9,173,032
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	△ 4,077,758
(E) 前期繰越損益金	△ 166,981,147
(F) 追加信託差損益金	14,206,337
（配当等相当額）	(△ 7,369)
（売買損益相当額）	(14,213,706)
(G) 合計（D＋E＋F）	△ 156,852,568
次期繰越損益金（G）	△ 156,852,568
追加信託差損益金	14,206,337
（配当等相当額）	(△ 7,369)
（売買損益相当額）	(14,213,706)
繰越損益金	△ 171,058,905

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	10,151,039
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	10,151,039
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額（e－f）	10,151,039
(h) 受益権総口数	1,666,370,817口

チャイナ・カーボン・ニュートラリティ・ファンド

当ファンド（ダイワ／バリュー・パートナーズ チャイナ・カーボン・ニュートラル・フォーカス）はケイマン籍の外国投資法人「バリュー・パートナーズ・ファンズ・エスपीシー」が発行する「バリュー・パートナーズ・チャイナ・カーボン・ニュートラリティ・ファンド・エスピー（クラスZ）」の投資証券（円建）を主要投資対象としております。以下の内容は、直近で入手可能な Financial Statements 等から抜粋し、編集および一部翻訳したものです。

貸借対照表 2022年3月31日

	米ドル
資産	
金融資産（損益通算後の評価額）	7,852,322
未収配当金、未収利息、その他未収金	39,386
現金および現金同等物	1,751,136
資産合計	9,642,844
負債	
ブローカーに対する未払金	85,048
未払運用報酬	4,893
未払金、その他未払費用	26,222
負債合計	116,163
資本合計	9,526,681
償却可能な資本が参加する受益証券の保有者に帰属する純資産	9,526,681
償却可能な資本が参加する受益証券一口当り純資産額 クラス Z（円建）133,779口	71.21

損益計算書

2022年 3 月31日に終了する会計年度

	米ドル
投資収益	
配当収益	680
受取利息	177
金融資産（損益通算後の評価額）による実現損益	(983, 691)
金融資産（損益通算後の評価額）による評価損益の変動	(1, 242, 140)
外国為替差損益	(48, 214)
	(2, 273, 188)
営業費用	
運用会社報酬	30, 189
管理会社報酬および保管会社報酬	6, 813
取引費用	33, 283
創業費	3, 918
監査報酬	28, 001
弁護士費用および専門家報酬	1, 598
その他営業費用	10, 502
	114, 304
当期の税引後損失及び包括利益合計額	(2, 387, 492)

組入明細表
2022年3月31日現在

保有銘柄	保有数	評価額 (米ドル)	純資産比 (%)
上場株式			
中国			
China Yangtze Power Co Ltd A Shrs (SSC)	123, 000	426, 070	4. 48%
Contemporary Ampere Technology Co Ltd A Shrs (SZHK)	3, 800	306, 523	3. 22%
Eve Energy Co Ltd A Shrs (SZHK)	7, 371	93, 625	0. 98%
Hangzhou First Applied Material Co Ltd A Shrs	10, 600	189, 417	1. 99%
Hongfa Technology Co Ltd A Shrs (SSC)	15, 400	114, 523	1. 20%
Huaneng Lancang River Hydropower Inc A Shrs (SSC)	437, 917	401, 300	4. 21%
JA Solar Technology Co Ltd A Shrs (SZHK)	27, 266	337, 785	3. 55%
LONGi Green Energy Technology Co Ltd A Shrs (SSC)	47, 400	538, 778	5. 66%
Luxshare Precision Industry Co Ltd A Shrs (SZHK)	18, 140	90, 542	0. 95%
Ming Yang Smart Energy Group Ltd A Shrs (SSC)	80, 900	282, 403	2. 96%
NARI Technology Co Ltd A Shrs (SSC)	92, 120	456, 753	4. 79%
Suzhou Maxwell Technologies Co Ltd A Shrs (SZHK)	2, 500	207, 123	2. 17%
Wuxi Lead Intelligent Equipment Co Ltd A Shrs (SHZK)	23, 200	213, 478	2. 24%
Zhejiang Jingsheng Mechanical & Electrical Co Ltd A Shrs (SZHK)	28, 000	264, 523	2. 78%
		3, 922, 843	41. 18%
香港 - H 株			
BYD Co Ltd H Shrs	9, 000	257, 951	2. 71%
China Longyuan Power Group Corp Ltd H Shrs	226, 000	514, 962	5. 41%
Fuyao Glass Industry Group Co Ltd H Shrs	69, 600	286, 244	3. 00%
Ganfeng Lithium Co Ltd H Shrs	15, 600	223, 159	2. 34%
		1, 282, 316	13. 46%
香港 - その他			
China Power International Development Ltd	1, 147, 000	610, 901	6. 41%
China Resources Power Holdings Co Ltd	100, 000	188, 265	1. 98%
GCL-Poly Energy Holdings Ltd	322, 000	110, 632	1. 16%
JD. com Inc	290	8, 667	0. 09%
Li Ning Co Ltd	11, 000	94, 975	1. 00%
Meituan	4, 800	95, 394	1. 00%
NetEase Inc	8, 400	154, 280	1. 62%
Tencent Holdings Ltd	3, 000	143, 383	1. 51%
Xinyi Solar Holdings Ltd	134, 000	236, 529	2. 48%
		1, 643, 026	17. 25%
韓国			
LG Energy Solution	40	14, 594	0. 15%

保有銘柄	保有数	評価額 (米ドル)	純資産比 (%)
米国預託証券			
Li Auto Inc ADR (1 ADR Reps 2 Shrs)	5, 942	153, 363	1. 61%
NIO Inc ADR (1 ADR Reps 1 Ord Shrs)	4, 680	98, 514	1. 03%
XPeng Inc ADR (1 ADR Reps 2 Shrs)	3, 565	98, 358	1. 03%
		350, 235	3. 67%
P ノート			
CLSA Global Markets Pte Ltd (Centre Testing International Group Co Ltd) CWts 10/19/2026	94, 700	293, 665	3. 08%
CLSA Global Markets Pte Ltd (Ningbo Ronbay New Energy Technology Co Ltd A Shrs) CWts 10/19/2026	16, 940	345, 643	3. 63%
		639, 308	6. 71%
金融資産合計（損益通算後の評価額）		7, 852, 322	82. 42%
現金および現金同等物		1, 751, 136	18. 38%
その他純負債		(76, 777)	(0. 80%)
純資産		9, 526, 681	100%

＜補足情報＞

当ファンド（ダイワ／バリュー・パートナーズ チャイナ・カーボン・ニュートラル・フォーカス）が投資対象としている「ダイワ・マネーデポジット・マザーファンド」の決算日（2021年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2022年10月14日）現在におけるダイワ・マネーデポジット・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネーデポジット・マザーファンドの主要な売買銘柄

2022年4月15日～2022年10月14日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

2022年10月14日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネーデポジット・マザーファンド

運用報告書 第1期（決算日 2021年12月9日）

（作成対象期間 2021年2月8日～2021年12月9日）

ダイワ・マネーデポジット・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

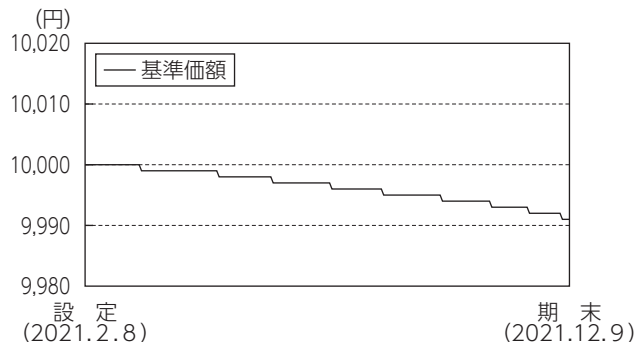
運 用 方 針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主 要 投 資 対 象	円建ての債券
株 式 組 入 制 限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額	公 社 債 率	
		騰 落 率	組 入 比
(期首)2021年 2月8日	円 10,000	% -	% -
2月末	10,000	0.0	-
3月末	9,999	△0.0	-
4月末	9,998	△0.0	-
5月末	9,998	△0.0	-
6月末	9,997	△0.0	-
7月末	9,996	△0.0	-
8月末	9,995	△0.1	-
9月末	9,994	△0.1	-
10月末	9,993	△0.1	-
11月末	9,992	△0.1	-
(期末)2021年12月9日	9,991	△0.1	-

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

設定時：10,000円 期末：9,991円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期的国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2021年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	1,094	100.0
投資信託財産総額	1,094	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ・マネーデポジット・マザーファンド

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2021年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,094,545円
コール・ローン等	1,094,545
(B) 負債	－
(C) 純資産総額(A－B)	1,094,545
元本	1,095,501
次期繰越損益金	△ 956
(D) 受益権総口数	1,095,501口
1万口当り基準価額(C／D)	9,991円

* 期首における元本額は995,000円、当作成期間中における追加設定元本額は100,501円、同解約元本額は0円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：
マネーデポジット資金拠出用ファンド（適格機関投資家専用） 1,094,500円
ダイワ/バリュー・パートナーズ チャイナ・カーボン・ニュートラル・フォーカス 1,001円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,991円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は956円です。

■損益の状況

当期 自2021年2月8日 至2021年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△954円
受取利息	6
支払利息	△960
(B) その他費用	△ 1
(C) 当期損益金(A＋B)	△955
(D) 追加信託差損益金	△ 1
(E) 合計(C＋D)	△956
次期繰越損益金(E)	△956

(注) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。